

2022年11月21日 第439号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

総がかり行動実行委員会「19日行動」に1100人

改憲発議、大軍拡を阻止しよう！ 11・30野音集会を成功させよう！

立憲野党と市民が手をつなぎ、悪政を変えよう！



総がかり行動実行委員会は11月19日、「統一協会癒着徹底追及！軍拡やめろ！改憲発議反対！辺野古新基地建設中止！いのちと暮らしを守れ！11・19国会議員会館前行動」を行い、1100人が参加しました。社民党の服部良一元衆議院議員、立憲民主党の阿久津幸彦前衆議院議員、日本共産党の塩川鉄也衆議院議員があいさつ。沖縄の風の伊波洋一参議院議員のメッセージが紹介されました。

戦争をさせない1000人委員会の勝島一博さんが主催者あいさつ。「自民党と統一協会の癒着問題は真相究明には程遠い。厳しく追及する必要がある」と強調。憲法審査会などで改憲や軍拡の話が進められていることについて話し、「国民は物価対策や経済対策を求めている。改憲発議、軍備増強阻止、立憲主義、平和主義の回復を求めてたたかおう」と呼びかけました。

3人の市民がスピーチ。共通番号いらないネットの中森圭子さんは、「保険証を廃止しマイナカードに一本化するというのが、そもそもマイナカードの取得は任意だと法律で定められている。管理社会を望まない人はカードを持たない、番号を書かないことが大事」と強調しました。

改憲問題対策法律家6団体連絡会の大山勇一弁護士は、憲法審査会の審議状況や安保三文書の改訂について述べ、「3文書が改訂されれば戦争に巻き込まれる可能性が飛躍的に高まる。9条の実質改憲を許してはいけない。Q&Aを作成したので活用を」と呼びかけました。

止めよう！辺野古埋立て国会包囲実行委員会の木村辰彦さんは、政府が民意を踏みにじり辺野古の埋立てを強行していることについて「民主主義破壊、地方自治破壊、法治主義破壊、司法の独立破壊だ」と強調。辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議が取り組んでいる「辺野古新基地建設の断念を求める請願署名」への協力を訴えました。

総がかり行動実行委員会の高田健共同代表が行動提起を行い、「11月30日の日比谷野音集会(18時30分～19時15分。終了後、国会請願デモ)を大きく成功させよう」と呼びかけました。